



バンドコミュニケーション高槻2022

BAND COMMUNICATION
TAKATSUKI

supported by



NAKAUMI
INDUSTRIES

開催報告書

作成：バンドコミュニケーション高槻実行委員会

開催概要

開催日時：2022年7月28日(木)

開催場所：クロスパル高槻 8Fイベントホール

参加学校：

春日丘高校 「Wiz You」

芥川高校 「株式会社ブラック」

大手前高校 「ユカシカリシカド」

茨木高校 「わくわく！ぱりぴどり」

高槻北高校 「らくーんれもん」

阿武野高校 「9ROCKS」

三島高校 「黎may」※

槻の木高校 「なこココキック」※

大阪高校 「smoke 5th」※

(※はコロナ関連で出演不可)

司会：力也・nico(大阪高校)

Photo：優・カワニシヒロキ

saika(阿武野高校)

主催：バンドコミュニケーション高槻実行委員会

運営：バンコミ生徒実行委員メンバー

機材：大阪スクールオブミュージック専門学校

後援：大阪府教育委員会



当日までのスケジュール

- | | |
|-------|--|
| 22年1月 | 会場抽選の結果、開催決定 |
| 4月 | 参加学校募集開始 |
| 6月 | 出演者確定 |
| 7月 | 中旬から感染者が増加し始める
ポスター貼り大会
イベント説明会・合同練習会
参加辞退の報告が入り始める |
| 7月28日 | イベント当日 |

■ 総括

感染拡大の中なんとか開催を目標。結果的には大成功を収め無事終了

- 自宅待機の生徒が続出し、当日の朝まで出演可能かわからないという緊迫した状況が続いていた。
- 3校が残念ながら出演辞退。なんとか開催するも当日に大幅なタイムテーブルの変更も発生。
- 運営メンバーにも自宅待機の生徒が出て、予定より少ない人数となったがみんなが協力し合い乗り切る。
- 当日の感染予防として「演者もマスク着用」「観客は声出し禁止・定員数を減らし間隔開ける」などを実施。
- 参加学校も元のメンバーから変更があったところがほとんどで、顧問の先生方が調整してくださり参加に。

■ 動員

□ 開催10日前～ チケット予約開始

事前予約は好調で入場制限間近 期待値は高かった

会場キャパ 120名（コロナ禍による人数制限）

事前予約 110名（イベント7日前時点 定員数の92%の予約）

当日来場者 53名（予約数の48%）

□ 開催5日前～当日朝 感染拡大増加 開催中止も視野

感染拡大を受け予約停滞 当日キャンセル増加

イベント5日前～感染拡大により中止も視野に入れる状況の中

予約数が明らかに停滞。当日も出演辞退校の観客や自宅待機を判断する方が来場を諦め、動員数は減少。実行委員会としても安全第一で終了出来るよう来場を強く推奨せずお客様の判断に任せました。

※会場にはWi-Fi環境がないため配信は実行不可（今後の課題）

→前評判は高く、コロナが落ち着けば満員で開催出来る見込み



■表彰

WINNER グランプリ：阿武野高校 WINNER 準グランプリ：大手前高校

パート別表彰 Vo賞 阿武野高校 | Gt賞 春日丘高校 | Ba賞 茨木高校
Dr賞 阿武野高校・茨木高校（同票） | プレイヤー賞 阿武野高校・大手前高校（同票）



写真上段左より グランプリ阿武野高校、準グランプリ大手前高校、各種表彰メンバー
下段左より 結果発表役のラックライフPONさん、審査委員長より各学校への表彰

■表彰特典（大学生イベントへの無料ライブ出演）

グランプリと準グランプリの2校が、京都で開催された大学生イベント（バンコミ卒業生中心に開催）に無料出演をしました。さらに大きな会場でのライブ経験ができました。



バンドコミュニケーション高槻では主役である生徒達に
当事者意識を持って取り組んでもらいたいと考え、
「みんなで一緒に何かをする」をたくさん実行しました。

実行したこと

- 実行委員 運営会議
- ネットラジオで宣伝
- ポスター貼り大会
- 学校説明会・合同練習会
- 協賛企業インタビュー

■みんなで一緒に「実行委員会議」

学校も学年もバラバラの生徒たちが意見を出し合い作り上げたイベントです



実行委員数：35名

先輩が後輩に声をかけたり

自主的に参加を希望したり参加は自由です
係に振り分けるので学校も学年もバラバラに。
初対面の人とコミュニケーションを取って
意見を出し合い打ち合わせをしています。

実行委員同士でバンドを組んだ生徒もいます。

■みんなで一緒に「ネットラジオ収録」

生徒が生徒を紹介するラジオ番組を収録しイベントの宣伝をしています。



収録ブースはNPO法人famicaのブースを
無料でお借りしています。

回数を重ねることでトークも上達し
最近では台本も生徒が考えるよう
になっています。

遊び感覚で収録したものが形になることを
楽しんでくれているようです。

ラジオはyoutubeで公開しています。

■みんなで一緒に「ポスター貼り大会」 ※30名ほど参加

出演者と実行委員で地元の街を歩いてポスター掲示をお願いしました。

高槻・茨木に分かれてエリア毎で貼れた枚数を競いました。各エリア15名ほど、男女比もほぼ半分でした。

開始前： 大変そう | 頼み込むイメージ | 断られそう | 門前払いされそう | 高校生だから話を聞いてくれなさそう

終了後： 楽しかった | 応援の言葉をもたらえた | 協力してもらえた | 他の委員と仲良くなれた | 町の方は優しく
優しく受け入れてもらえた | 地域の人と話せてよかった | 応援してくれる人に学校以外で初めて会った |
歩き疲れた | 度胸がついた | 地元の街を知れた | 人と話せるようになった | 本番が楽しみになった | など

参加者のほぼ全員が参加してよかったと感じ、ポスターも計50箇所ほど貼ることが出来ました。
最初はモジモジしていた生徒も終盤にはずっと店の人と話してると言う場面が多々ありました。



■みんなで一緒に「学校説明会・合同練習会」

本格的な環境での練習会を開催 生配信でPRも実施

大阪・茨木のライブハウス「JACK LION」様がバンコミのために会場を無償提供してくださいました。
各学校の顧問の先生方、出演バンド（コロナ感染拡大中のため希望バンドのみ参加に変更）への当日の説明会
ライブハウスの大きなステージで観客を前にする緊張感を感じてもらおう合同練習会を開催しました。
実行委員会からもライブに使えるテクニック講座を行い、いよいよ本番に向けての準備が整ってきました。

**今までで一番緊張した | たくさんの他校の人に見られることは初めて
緊張するとこんなに演奏出来なくなるんだ | 大きいステージは楽しい**

ほとんどの生徒がこの日から本番までの7日間、今までにしたことのないほどの練習を自発的にしたそうです。
本番があることで目標が出来て、そこに時間を使うことで自分にとって大事なものになっていく。
そんな環境を整えてあげることが大人の役目と感じました。

当日の様子はSNSで生配信し、参加学校の生徒達にイベントPRを行いました。
配信も生徒たちで工夫して対応してくれました（一番右写真参照）



■みんなで一緒に「協賛企業インタビュー」

イベントや部活動を応援してくれている人の存在、 高校時代に一生懸命やることの大切さなどを感じてもらいたい。

開催テーマ「発表の機会が減少した軽音学部の応援をしたい」に賛同してくださった企業様の支援があって開催出来ております。自身も音楽に関わり、社会人として活躍されている各企業の代表者様に、ご自身の体験談や仕事の話、高校時代がいかに大切に尊いものかなどを代表生徒がインタビューする機会を作りました。

音楽に関わる部員として今どう頑張るべきなのか、学生として企業の代表に仕事などの話を伺う機会は中々あるものではなく、慣れないことに最初は緊張していましたが、みなさまの配慮により最後にはリラックスしながら行うことが出来ました。

「もっと没頭する」「やりきる」「楽しむ」など活動する上で必要なことや、
今度社会ではどういった人が重要視されるのかなど将来で必要なことなどを教えてもらいました。

今後もイベントを通じて、ここでしか出来ない学びや成長が経験出来る機会を増やしていきます。

※収録したインタビューはyoutubeで公開してHPから見れるようにしております。



写真左より

中海鋼業株式会社
代表取締役 谷口様
同営業部 吉澤様

メジャーバンド「ラックライフ」
Vo PONさん

株式会社ルートゼロ
代表取締役 柴田様

■今後の課題・改善点

コロナに対する対応改善

来年の状況改善に期待、今回の経験則からの対応で改善見込み

チケット予約の簡素化

コロナ禍による来場者リスト作成のため煩雑なシステムを利用。
コロナ状況改善、会場のキャパ増加により解消見込み

開催概要アナウンス内容の充実

感染拡大による開催可否の判断などがあり遅延
準備を1ヶ月前倒しすること及び経験則で解消見込み

関係者控室などの充実

会場変更と会場予算の確保により解消見込み

観客の休憩スペースの確保検討

会場変更により解消見込み
次回会場は半数以上が着座席のため

結果発表までの段取りの簡素化

感染拡大による実行委員会メンバー減少のため発生。
会場変更、コロナ状況改善、経験則で改善見込み

よりよい環境で開催出来るよう改善を目指してまいります。